



S.Naka

THE CHURCHILL DOWNS CUP 第34回 チャーチルダウンズカップ (GⅢ)

1着 賞 41,000,000円 2着 16,000,000円 3着 10,000,000円 4着 6,200,000円 5着 4,100,000円
付加賞 420,000円 120,000円 60,000円



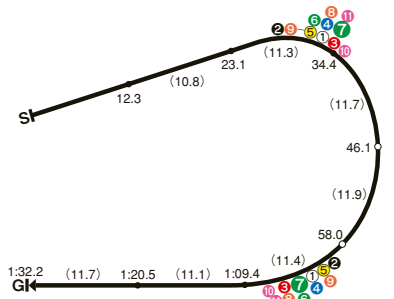
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳
負担重量 馬齢重量

2025.4.5 阪神 晴・良 芝1600m (国際) (指定)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑦	ランスオブカオス	牡	3	57	吉村誠之助	1:32.2	2-5	33.9	496(-2)	3.0②	奥村 豊(栗東)	110
2	⑥	アルテヴェローチェ	牡	3	57	佐々木大輔	1¼	8-5	34.1	462(±0)	2.7①	須貝尚介(栗東)	106
3	⑤	ミニトランザット	牡	3	57	鮫島克駿	アタマ	8-9	33.7	468(±0)	26.7⑧	杉山佳明(栗東)	106
4	④	スリールミニヨン	牝	3	55	幸 英明	½	5-7	34.0	440(+6)	16.3⑤	高橋康之(栗東)	101
5	⑪	モンテシート	牡	3	57	西村淳也	1¼	2-2	34.6	498(+4)	7.7④	牧田和弥(栗東)	
6	⑧	アスクセクシーモア	牡	3	57	岩田望来	ハナ	5-3	34.5	476(-8)	5.5③	福永祐一(栗東)	
7	②	ジーティーマン	牡	3	57	北村友一	クビ	11-11	33.8	494(+6)	20.9⑦	小栗 実(栗東)	
8	⑨	ワンモアスマイル	牡	3	57	岩田康誠	1¼	10-9	34.4	452(-10)	18.5⑥	藤岡健一(栗東)	
9	⑩	ツアーエムクロノス	牡	3	57	団野大成	クビ	1-1	35.1	504(±0)	100.2⑪	本田 優(栗東)	
10	①	モンタルチーノ	牡	3	57	浜中 俊	4	5-7	35.3	492(-4)	41.9⑨	庄野靖志(栗東)	
11	③	フォルテム	牡	3	57	池添謙一	1¼	2-3	35.8	468(-6)	63.7⑩	千葉直人(美浦)	

単勝⑦300円(2¼) 複勝⑦120円(2¼) ⑥120円(1¼) ⑤360円(7¼) 枠連⑥-⑦430円(2¼)
馬連⑥-⑦410円(1¼) ワイド⑥-⑦200円(1¼) ⑤-⑦950円(13¼) ⑤-⑥1,000円(14¼)
馬単⑦-⑥900円(2¼) 3連複⑤-⑥-⑦2,390円(7¼) 3連単⑦-⑥-⑤8,180円(23¼)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
34.4 - 46.1 - 58.0 46.1 - 34.2

アラカルト

- ・吉村誠之助騎手はJRA重賞初勝利
- ・奥村豊調教師はチャーチルダウンズC初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算5勝目
- ・シルバーステート産駒はJRA重賞通算5勝目
- ・勝ちタイム1:32.2は22年ダノンスコーピオンが記録した1:32.7を0秒5更新するレースレコード
- ・ランスオブカオス、アルテヴェローチェ、ミニトランザットはNHKマイルC(GⅠ)に優先出走できる

ランスオブカオス *Lance of Chaos*

牡 黒鹿毛 2022.3.27生
北海道新ひだか町 フジワラファーム生産
馬主・五影慶則氏 栗東・奥村豊厩舎
馬名意味・混沌に対する槍

ヘヴンリーアドヴァイスUSA系 F23-b

シルバーステート 青鹿毛 2013	ディーブインバウト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	シルヴァースカヤUSA 黒鹿毛 2001	Silver Hawk Boubaskaia
ハイドラン 黒鹿毛 2015	ローエン格林 栗毛 1999	Singspiel カーリングFR
	ミミオブパラダイス 鹿毛 2006	ダンスインザダーク ヘヴンリーアドヴァイスUSA

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S3×M4
Halo S4×M5×M5 Hail to Reason S5×S5
Nijinsky S5×M5

INTERVIEW

藤原凌一氏(フジワラファーム)

いつも一所懸命に走る馬です

惜しいレースが続いていたので結果を出してくれてとても嬉しい。母は能力がある馬でしたが気性面で少し動じる部分があったので、そこを補うことを期待してシルバーステートを配合しました。ランスオブカオスは母とは違うタイプで、馬体のバランスが良く、とても順調に育ちました。いつも一所懸命に走る馬で成績も安定しています。次走も楽しみにしています。

H.Yamanaka



1戦1勝のキャリアで挑んだ朝日杯フューチュリティSで3着に食い込み、脚光を浴びた本馬。始動戦のきさらぎ賞は距離の壁に跳ね返されて3着に敗れたが、マイルの舞台で鮮やかに巻き返した。勝ちタイムの1分32秒2は従来の記録を0秒5塗り替えるレースコード、今春の阪神開催を通じた最速タイの時計でもある。レース前の「優勝馬」から一転、優秀な内容で初の勲章を掴んだシルバーステート産駒が、NHKマイルCの主役候補に躍り出た。

阪神競馬場と姉妹提携を結んでいたアーリントンインターナショナル競馬場が2022年に閉場。かわって同年からはチャールズタウン競馬場との交換競走が実施されてきたことを受け、従来のアーリントンCは今年からチャールズタウンズCと改称され、施行時期も2週間繰り上げられた。新装初年度のレースを彩ったのはフレッシュな話題。デビュー2年目の新鋭・吉村誠之助騎手とコンビを組んだ2番人気馬ランスオブカオスが、1番人気に支持されたサウジアラビアロイヤルCの覇者アルテヴェローチエを従えて勝利を飾り、人馬揃って嬉しい重賞初制覇を果たした。

軽快なダッシュで飛び出したフォルテムを、3コーナー手前でツエムクロノスがかわして主導権を奪取。緩みのないラップが刻まれていくなか、吉村騎手は好位の一角で折り合いに専念してレースを運ぶ。心房細動明けの未勝利戦を快勝し、3番人気に支持されたアスクセクシーモアは4コーナー手前でその外に進出。スタートで立ち遅れ、序盤は後方を進んだアルテヴェローチエもこれを追うように位置を上げ、追撃態勢を整えた。

外から迫ってきた2頭に対し、馬群の内めで脚を溜めて直線に向いた吉村騎手は、ツエムクロノスとモンテシートの間に開いた狭いスペースを狙ってスパート。鋭く反応したランスオブカオスが2頭を一刀両断。坂下で先頭に躍り出る。脚勢は最後まで陰らず、アルテヴェローチエの反撃を寄せ付けずに快勝のゴールを駆け抜けた。

父シルバーステート

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央5戦4勝(垂水S、オーストラリアトロフィー、紫菊賞)、18年から供用

〔代表産駒〕**エエヤン**(ニュージーランドトロフィー^G_{III})、**ウォーターナビレラ**(ファンタジーS^G_{III}、桜花賞^G_I2着、阪神ジュベナイルフィリーズ^G_I3着)、**ランスオブカオス**(本馬)、**リカンカブル**(中山金杯^G_{III})、**セイウンハーデス**(七夕賞^G_{III})、**ショウナンバシット**(札幌日経オープン・L、若葉S・L)、**バトルボーン**(メトロポリタンS・L)、**ラヴァンダ**(フローラS^G_{III}2着)、**セッション**(京都金杯^G_{III}2着、アーリントンC^G_{III}2着)、**コムストックロード**(葵S^G_{III}2着)、**カルロヴェローチェ**(ファルコンS^G_{III}2着)、**ベルウッドブラボー**(ジュニアC・L2着)、**ナイトキャッスル**(秋S・L2着)、**ラスハンメル**(若葉S・L2着)、**メタルスピード**(スプリングS^G_{III}3着)

母ハイドラン

北海道新ひだか町 フジワラファーム生産 中央16戦2勝(湯沢特別)

ランスオブカオス 本馬(22 牡父シルバーステート)中央4戦2勝(チャールズタウンズC^G_{III}、朝日杯フューチュリティS^G_I3着、きさらぎ賞^G_{III}3着) 獲得総賞金76,838,000円

(23 牡父インディチャンプ)

(24 牝父イスラポニータ)

祖母ミミオブパラダイス

北海道新ひだか町 フジワラファーム生産 中央1勝、地方0勝。16年用途変更
ハイドラン(15 前出)

アッセンブッテル(16 牝父バトルブランUSA)中央4勝(伊丹S、鷹取特別、阿蘇S^{Op}2着、名古屋城S^{Op}2着、吾妻小富士S^{Op}3着、太秦S^{Op}3着)、地方0勝(クイーン賞J^{III}2着、ブリーダーズゴールドC^J_{III}3着)

曾祖母ヘヴンリーアドヴァイスUSA

北米4勝(オールアロングS^G₃2着、スタチューオブリパティS2着、ボライトリーS3着)、05年輸入、12年用途変更

モアアドヴァイス More Advice(03 馴父Mt.Livermore)北米4勝

ガイダンス Guidance(04 牝父Awesome Again)北米1勝

イイデケンシン(05 牡父Thunder Gulch)持込 中央2勝(ボインセチア賞、関越S^{Op}2着、函館2歳S^J_{III}3着)、地方9勝(全日本2歳優駿J^I、笠松グランプリ、スプリント、瀬戸内賞)、首0勝

ミミオブパラダイス(06 前出)

マウナロア(11 牝父キングカメハメハ)中央2勝

新装初年度に人馬揃って重賞初制覇